

令和7年度 重点目標

- 様々な背景を有する生徒を励まし支えながら、一人ひとりの個性や特質に応じた教育的支援を行う。
- 卒業後のキャリア形成を意識し、生徒一人ひとりに個別最適化された学力保障と進路指導を行う。
- よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒の自主自律的な態度を育成する。

確かな学びの現状

- 学習歴や生活背景などにおいて、きわめて多様な背景をもつ生徒の学びの場、学びなおしの場となっている。
- 不登校経験のある生徒や学習面に不安のある生徒なども在籍している。
- 学習に自ら進んで取り組んだり、自分で課題意識を持って学習に向かう生徒は多くはない。

豊かな心・健やかな体の現状

- 生徒は概して素直であるが、対人関係能力、生活習慣、進路意欲などの実態は多様である。
- 生涯にわたって学び続ける姿勢や対人関係などに自信を持ちにくい生徒も多く存在する。
- 学校行事に積極的に参加したり、相手のことを考えた行動ができるような成長が期待される。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	社会生活と結びつき、自らの生活を支えるために必要となる基礎・基本的な学力の定着を図る	●学びなおしを重視した学習内容の焦点化を行い、生徒一人ひとりの習熟度に応じた学習支援を行う	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	◎ 学びなおしを重視し、基礎学力等を向上させ実社会で必要となる学習ができている。	◎ 学びなおしや基礎基本に焦点を当てた段階的な学習に取り組むことで学習理解度の向上が見られ、実社会で必要となる基礎学力を概ね身につけさせることができた。	◎ 先生方は学びなおしや基礎基本に焦点を当てた教科書を選択し、学習が苦手な生徒に寄り添っていただいている。これからも、この方針を続けて欲しい。
			授業で基礎学力等を向上させるための時間を設定し、実社会で必要となる事柄と関連させながら学習させる	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	◎	◎	◎
		キャリア教育を推進させることで進路未決定者を減少させ、希望する進路先に対応できる学力を身につけさせる	様々な学習ニーズに応じた学校設定科目を実施し、それぞれの進路で生きて働く知識・技能を身に付けさせる	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	◎	◎ 卒業後の進路について積極的に考え学ぶ機会を充実させることができている。	◎ 年間を通じた継続的なキャリア指導により、就職内定率も高い水準を維持している。アンケートにおいて卒業後の進路について考えている生徒の割合は、昨年比では同程度である。
豊かな心・健やかな体	基本的な生活習慣の確立	一人ひとりが互いのよさを認め、協力・協調しながら共に高めあえる人間力を育成する	●学級活動やクラブ活動での集団づくりを通して、互いの違いを認め合い、支え合おうとする態度を育成する	生徒の生活実態アンケート 「学校生活について」肯定的評価	生徒の生活実態 アンケート	年度末	○	○ 生徒の生活調査において、学校生活について約8割の生徒が肯定的または中位の回答をしており、例年と同程度である。	◎ 生徒が互いに協力しながら主体性が発揮できる機会として、選択型校外学習の充実はとても良いと思う。
			生徒が互いに協力しながら主体性が発揮できる機会を拡充するために、生徒会活動や学校行事等を充実させる	学校行事への参加率 進級・卒業率	統計調査	年度末	◎	◎ 選択型校外学習の内容を充実させたことで生徒の参加率が向上し、生徒会への積極的な参加も見られた。	◎
認知度の向上	信頼される学校	本校や夜間定時制課程の認知度を向上させるため、学校広報活動の見直しと増進を図る	●教員による中学校訪問や、学校見学会を実施し、本校での教育活動の現状と成果を中学生やその保護者に広く伝える	中学校訪問の実施回数 個別学校見学者数 入学志願者数の増加	統計調査 入試志願者数	年度末	◎	◎ 全職員が協力して堺市内及び近隣自治体中学校への訪問を行った。また新たに学校見学会を実施するなど本校の認知度向上に向けた取り組みを積極的に行った。	◎ 近年、堺高校定時制の定員割れが続いているが、先生方がしていただいている中学校訪問や学校見学会、学校HP等で、進路を考えている生徒たちへ堺高校定時制の良さが届いて生徒数が増え、堺高校定時制がずっと存続して欲しい。
			学校ホームページを活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める	記事掲載数や内容の充実 入学志願者数の増加	統計調査 入試志願者数	年度末	○	○ 学校HPの掲載記事数を増やすなど、積極的な情報発信を行った。	◎

校長より(年度末)

今年度は、選択型校外学習の種類や内容を充実させるなど、より充実した学校生活を生徒に提供することができたと感じている。本校には不登校を経験した生徒や特別な支援が必要な生徒、また日常生活に様々な背景を有する生徒など、一人ひとりに対応した指導内容や指導方法の工夫が必要となるが、今後も組織的に改善を継続し続け、生徒の特性に応じた個別最適化された教育を実践していく。また生徒自身が、よりよい生活や人間関係を自主的に形成し、保護者や教員とともに卒業後の進路について考えを深めるキャリア形成活動を継続指導していく。

学校関係者評価者から(年度末)

先生方は、本当によく生徒に寄り添っていただいている。堺高校定時制の良さをもっと広まり、今後もずっと堺高校定時制が存続して欲しい。